



ケロちゃん通信

2019年 12月 第54号

- ☆ 寒い日が増え、朝起きるのがつらい季節になってきました。早いものでもう師走です。今年も多くの方にご利用いただきありがとうございました。来年は東京オリンピックの年でもあり、何かとせわしない1年になると思います。学会やイベントなども東京では会場がとれなくて地方開催となるものが多いようです。
- ☆ インフルエンザワクチン接種も終盤になります。インフルエンザの患者さんも増えてきていますので、体調にはお気を付け下さい。裏面に今シーズンのインフルエンザの薬物治療について記載しましたのでご覧ください。
- ☆ ADHDでコンサータを飲まれている方へ
12月よりコンサータの流通システムが変わります。今まで通り処方是可以しますが、処方する場合に患者さんの登録が必要になります。個々に説明させていただきますが、よろしくお願いいたします。
- ☆ 来年も皆様のお役に立てるよう、安心して子育てができるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。良いお年をお迎えください。

年末年始の診療予定：

12月28日（土）午前まで診療いたします。
 12月28日（午後）から1月3日（金）まで休診とさせていただきます。
 新年は1月4日（土）より診療いたしますのでよろしくお願いいたします。

12月の診療予定
 本間医師（6日午前・午後 20日午前）



ながおか医療生協 あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1
 電話番号 0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryousaikyou.jp/>

診療案内

一般診療の受付開始は午前8時30分、午後15時30分からです。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。
 予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。
 付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。
 緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください（2ヶ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話でもご予約もできます。

☆専門外来

①**発達外来（第1金・第3火13:30～15:30、その他の火・金13:00予約制）**
 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来（第1金 9:30～11:20 13:40～15:20、第3金 9:30～11:20 予約制）**
 アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。（ネット予約はできません）

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

今シーズンのインフルエンザ薬物療法について

- ☆ インフルエンザの薬物療法は毎年少しずつ変わってきています。
- ☆ 今年もタミフルの内服が基本になると思います。状況によりイナビルやリレンザの吸入が選択肢になると思います。もちろん薬を使用しないという選択もあります。基礎疾患もなく健康であれば、多くは自然治癒が期待できる疾患でもあります。年齢、症状に応じて診察時に相談の上、必要であれば適切な薬物の使用も考えていきましょう。
- ☆ ゾフルーザ®(パロキサビル マルボキシル)は2018年に発売された新規抗インフルエンザ薬です。1回内服のみという使いやすさや、効果はタミフル®(オセルタミビル)等と同等とのことで昨年より使用されています。
- ☆ しかし、小児では使用経験が少なくまだ十分なデータが集積されていません。加えて、インフルエンザA型の耐性株出現頻度が小児では10-50%と成人に比べて高いと報告されています。特に5歳以下での出現率が高いようです。耐性株に感染するとより罹患期間が長引くことが知られています。
- ☆ 小児において使用が制限されているわけではありませんが、日本小児科学会、日本感染症学会でも「積極的な使用は推奨しない」という方針が出されています。当院においても学会の方針に従い、小児でのゾフルーザは積極的には使用しない方針です。

- ☆ また、今シーズンよりイナビル吸入混濁液が発売されました。今までも1回吸入ですむイナビルは、成人および自分で吸入できる年長児には使用されていました。新しい製剤は喘息の時に使うネブライザーを用いて吸入するもので、自分でうまく吸入できないお子さんでも使用可能です。また今までのイナビルには乳糖成分が含まれており、乳アレルギーの方は使いづらいという難点がありました。新しい混濁液は乳糖を含まず、乳アレルギーの方でも安心して使える利点があります。しかし現時点では小児ではまだ使用経験が少ないため、ゾフルーザと同様に日本小児科学会では積極的な使用は推奨はしていません



新入職員紹介

自己紹介：吉川彩子さん（看護）10月入職

好きなこと：スノーボード

抱負：4才と2才の子どもがいます。子育ての経験を生かしながら、皆様の不安を少しでも軽減できるようサポートしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。